

Title	中国における日系企業経営の問題点(パネルディスカッション アジア市場開拓に向けた国際企業の戦略, 第22回年次学術大会)
Author(s)	朱, 炎
Citation	年次学術大会講演要旨集, 22: xix-xx
Issue Date	2007-10-27
Type	Presentation
Text version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/10119/7189
Rights	本著作物は研究・技術計画学会の許可のもとに掲載するものです。This material is posted here with permission of the Japan Society for Science Policy and Research Management.
Description	パネルディスカッション

パネルディスカッション

中国における日系企業経営の問題点

株式会社 富士通総研主席研究員、亜細亜大学大学院講師

朱 炎

中国における日系企業経営の問題点

富士通総研 朱炎

1. 中国における日本企業経営の実態

- ・生産拠点構築のための大規模な投資はほぼ終了、今後の課題は国内販売を拡大させるための販売体制の構築、サービス業への進出
- ・日系製造業の場合、国内販売が難しく、輸出と日本への逆輸出・本社との取引が優先
- ・国内販売は日系企業同士の取引が多く、数社の成功企業の下請けに
- ・中国における日系企業のプレゼンスが低下

2. 企業組織・人事制度上の問題

- ・本社との関係は、中国現地法人への権限委譲が不十分、本社からさまざまな補填
- ・大手企業は統括会社を設立したが、形式上の統括会社、機能不全、日本企業の事業部・事業会社体制が一因
- ・人事制度面では、日本人派遣者が多く、現地化が遅い、インセンティブが不十分

3. 日系企業のコスト・価格が高い

- ・大量の派遣・駐在員が大きな負担
- ・調達価格が高い、日系企業同士の取引が多い、現地調達の開拓が難しい、調達過程の不正を見抜けない
- ・品質へのこだわり、パーフェクト主義

4. 経営戦略・市場戦略の問題

- ・中国を戦略的市場と認識するが、中国市場への投入と組織体制は弱い、現地法人の権限が弱いというギャップ
- ・市場の変化に対応して戦略の調整が遅い、新製品・事業の展開、撤退と統廃合も遅い
- ・社会貢献、CSR活動が少なくないが、宣伝不足、突発事件・不祥事への対応が遅い

5. 必要な対応策

- ・戦略の調整、資源の投入、国内市場へのアプローチを強化
- ・在中国現地法人の自立性を高め、権限委譲、本社の補填を減らす
- ・日本の人事制度の中国での相性を検討、現地化の加速、インセンティブの強化
- ・台湾系企業に見習い、日台アライアンスを推進、韓国企業も参考に